

シンナガサキミーティング開催レポート

i n 戸石小学校区



令和6年6月29日（土）、自治会や民生児童委員、地元保育園、学生など14人の皆さんにお集まりいただき、戸石小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、地域のお祭りや地域住民同士の交流活動、高齢者サロンの取組み、中学校での生徒会活動の紹介や、日頃地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①牧島への路線バス運行について

牧島まで行くバスの便が少ない。小学校や中学校、高校の通学時間帯は決まっているので、その時間帯だけ短い間隔でバスを運行してもらえると助かる。

市の考え方

回答

バスの運行便数は、利用実態を踏まえ需要に応じてバス事業者が決定しているため、いただいたご要望は運行事業者にお伝えさせていただいています。路線を維持するためにも、引き続き現在運行されている路線バスの積極的なご利用をお願いします。

また、路線バスが運行されていない地域や時間帯に、地域の移動手段を確保したい場合は、タクシーの乗合わせやボランティア運送など、地域の方々の共助による方法もありますので、ご相談があれば可能な限り支援したいと考えています。

②不登校児童・生徒の相談窓口について

自分の地区に不登校の子どもがおり、気になっているがどこに相談していいのか分からない。

市の考え方

回答

市立小・中学校の不登校児童生徒に対する支援については、教育研究所にて相談をお受けしています。また、家庭への支援も必要なケースについては、保護者の同意があれば、学校を通じて教育研究所からスクールソーシャルワーカーの派遣も可能です。

③避難所指定のあり方について

戸石地区の避難所は、大雨の際に安全面が心配な避難所もある。避難所指定の考え方はどうなっているのか。

市の考え方
回答

避難所の指定については、国が定める基準を補完した長崎市の指定基準に基づき指定を行っています。そのなかで、災害の影響が比較的少ない場所を指定しているところですが、市内の避難所については、土砂災害警戒区域等にかかっている避難所もあるのが現状です。長崎市においては、災害種別ごとの適否基準を策定し、その適否の結果を全避難所に避難所標識に表示しています。市民の皆様には、大雨による土砂災害が発生する可能性がある場合や、津波が発生した場合には、その被害のリスクのある避難所には避難せず、もっと安全な避難所に避難していただくなどの災害時の避難行動を事前に決めていただいて、いざという時に避難行動に移していただきますようお願いいたします。

なお、避難にあたっては、ご自身の居住地域以外の避難所への避難も可能ですので、長崎東公園コミュニティ体育館や、橘地区ふれあいセンターも避難施設の選択肢の1つとして検討いただきますようお願いいたします。

④避難所の開設について

大雨時に「高齢者等避難」が発令されたが、自分の地区の避難所が開設されていなかった。高齢者は避難に時間を要するため早めの避難が必要だが、近くの避難所が開設されていなかったらどうしようもないと思う。

市の考え方
回答

防災・減災の基本は、早めの避難行動です。大雨や台風で指定避難所を開設する際、全指定避難所（265箇所）は開設せず、災害特性にあった避難所や、過去の避難状況に応じて開設避難所を決めています。そのため、避難行動に移される前に、避難所の開設場所を防災危機管理室に確認をいただくとその後の避難行動がスムーズになります。また、近くの避難所が開設されていない場合は、要望での開設という方法もありますので、防災危機管理室にご連絡ください。

そのほか、「自然を生かした遊具や屋内の遊具などを増やしてほしい」、「交差点の信号機の待ち時間を改善してほしいところがある」、「街灯を整備してほしい」、「地域の歴史・文化の保存・活用をしてほしい」などのご意見をいただきました。



鈴木市長のひと言

忌憚のないご意見をいただき、皆様が色々な形で地域のために考えておられることがあらためてよく分かりました。

若い力もあり、本当に元気な地域だなと思いました。こういった形で、幅広い世代が一堂に会して話をする場を持つこと自体が、地域が次のステップに進んでいく大切な機会になっていくと思います



参加者からの感想

改めて戸石地区の問題点など再確認することが出来ました。

市長と一緒にこういう機会を得たことに感謝したい。

市長に自分の意見を聞いてもらい、地域の皆さんが困っていることなどを聞けたので良かったです。

地域の幅広い世代の意見を聞く事が出来た。

